

要約問題

(解答例 1)

Recently, electronic money is frequently used for payments at various places. Some parents give it to their children. Parents can observe how their children use electronic money, and children can get it anytime and anywhere. However, there's a risk of using too much money. Parents should guide their children in using electronic money carefully. (54 語)

(解答例 2)

Today, people use electronic money very often. Electronic money is sometimes used when parents give their children money. Parents can check the electronic money record. And children can get money from parents in different places. However, some children might spend electronic money too much. Parents have to manage their children to use electronic money carefully. (55 語)

解説

〈英文の訳〉

今、多くの人が電子マネーを使います。お店やレストラン、駅やそのほかのさまざまな場所での支払いに使えます。双方にとって便利なので、子どもにお金をわたすときに電子マネーを使う親もいます。それに対して、今でも現金に頼る家庭もあるかもしれません。幼い子どもが電子マネーを利用できるようにすべきではないと考える人もいます。

親と子どもにとって、電子マネーの利点は何でしょうか。電子マネーを使うたびに、いつ、どこで、いくら使ったかが記録されます。これによって、親は子どもがどのようにお金を使っているかをチェックすることができます。子どもが親と一緒にいなくてお金が必要になったときさえ、彼らは電子マネーを受け取ることができます。

しかし、問題点があります。電子マネーは、お金の使いすぎを簡単に引き起こすかもしれません。それゆえ、親はお金の慎重な管理を子どもにくりかえし言い聞かせる必要があります。

〈解き方のポイント〉

まずは、文章全体として伝えている内容をとらえましょう。また、段落ごとに内容を要約するようにしましょう。具体例は、抽象化または一般化して表現することも

要約のポイントです。

第1段落では文章全体のキーワードとその現況が述べられることが多いので、文章全体に繰り返して出てくるキーワードが何かをとらえましょう。この文章では、electronic money がキーワードになっています。第2段落と第3段落ではキーワードの長所と短所を対比した内容を伝えているので、それぞれ簡潔にまとめましょう。この文章では、第2段落は電子マネーの便利さ、第3段落では電子マネーの問題点を述べています。

〈解答例 1 の訳とポイント〉

最近、電子マネーはさまざまな場所での支払いによく使われています。電子マネーを子どもにあげる親もいます。親は子どもの電子マネーの使い方を監視できるし、子どもはいつでもどこでもそれを得ることができます。しかし、お金を使いすぎる危険性もあります。親は子どもの電子マネーの使い方を注意深く指導する必要があります。

「電子マネーがさまざまな場所で使われ、親が子どもに与えることもある」という文章全体のキーワードとその現況を冒頭で簡潔にまとめましょう。問題文で stores, restaurants, stations, and various other locations と具体例をあげているところは various places とまとめましょう。

〈解答例 2 の訳とポイント〉

今日、人々は電子マネーをよく使います。電子マネーは、親が子どもにお金を与えるときに使われることもあります。親は電子マネーの記録をチェックできます。そして、子どもは別の場所にいる親からお金を受け取ることができます。しかし、電子マネーを使いすぎるかもしれない子どももいます。親は子どもが電子マネーを注意深く使うように管理しなければなりません。

この問題の英文のように、第2段落と第3段落がそれぞれ対比される内容の場合は、要約では but や however など逆接の語を用いて文章をつなぐことができます。また、そのほかにも前後の文の関係に応じて、and のような順接や in addition (加えて) など、文と文をつなぐ表現を適切に使って要約の論旨を明確にしましょう。

〈ここをチェック〉

- 要約文が 45～55 字の規定語数内に収まっているか。
- 元の文の要旨を的確にとらえた要約文になっているか。
- 論理的な文章展開になっているか。
- 文法に誤りがいないか。スペルミスがないか。